平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安心・安全メール配信事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	近年の普及著しい携帯電話に対して、宇陀市が防災に関する情報や防犯に関する情報をメールで配信することにより、防災行政無線などを一定補完するものとして宇陀市民の安心と安全を確保する。

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要	気象警報の発表時や災害発生時、宇陀市からの情報について、防災行政無線やCATVの放送を補完するものとして、緊急時の防災情報等のメールを配信システム。 このほかに、㈱NTTドコモを始とした各携帯電話会社が無料で運営する地域緊急情報メールも導入しており、市民だけにとどまらず、宇陀市内を来訪中の方にも、宇陀市の防災に関する情報を携帯電話へ配信する。 （予算細目：使用料及び賃借料）
事業の成果	気象警報の発表や火災時の発災場所の周知など、市民の安心安全に十分寄与するものとなっており、登録者も次第に増加している。 また、このシステムは聴覚に障害のある市民にとって、防災に関する情報を取得するための第一の手段となっている。

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		391
H24予算額	A	391
H23当初予算額	B	391
H23現計予算額		391
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	391	391
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	471	471
活動指標名	登録者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	931 単位 人	1,350 単位 人
単位当たりコスト　（円）	506	349

特定財源の状況

事業の目標	配信する情報を整理し、素早い配信に心がけるとともに、登録者の仕分け（市職員、消防団員、一般市民）を厳格にすることで、災害発生時の参集メールや消防団への指示通信のツールとしても活用したい。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安全］ (2) 防災・防犯情報等メール配信事業

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立促進事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的

災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心とした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。
このような状況に歯止めをかけ、地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者から子供までが協力して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とする。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要

従来から進めている自主防災組織の結成を促進し、平成24年度末の結成率を50%以上とすることを目指す。

平成23年度末結成率＝40%見込み
（結成率＝自主防災組織加入世帯／宇陀市の総世帯数）

（予算細目：負担金補助及び交付金）

事業の成果

自主防災組織の結成は、地域で希薄となっている共助意識の高揚を図り、大規模災害発生時の地域の減災に資するものである。
また、自主防災組織の結成促進は、大規模災害の発生時において公助の立ち遅れをカバーするものであり、地域の減災と災害時要援護者避難支援計画の効果的な実行は、この自主防災組織の積極的な活動に期待するところが大きい。

自主防災組織訓練及び相談件数
H22年度＝約50件程度
H23年度＝約60件程度
※相談を含む

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		500
H24予算額	A	500
H23当初予算額	B	300
H23現計予算額		300
増減額	A－B	200

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	360			300		
従事職員数【人工】	0.10			0.10		
人件費（人工×8,000千円）	800			800		
総事業費：人件費含む（千円）	1,160			1,100		
活動指標名	加入率（%）					
活動指標の算式	自主防災組織加入世帯／市内全世帯					
活動指標の実績	30.76	単位	%	40.42	単位	%
単位当たりコスト　（円）	37,711			27,214		

特定財源の状況

事業の目標

宇陀市民の安心と安全を確保するため、自主防災組織の結成を促進するとともに、消防団等との連携を強化し、災害発生時の地域の減災を目指す。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3．市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安全］
(4) 自主防災組織の設立促進

平成 24 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市防災意識啓発事業

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	宇陀市民の安心と安全を確保するため、市民の防災意識の高揚を図る。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要	昨年の「東日本大震災」や「紀伊半島大水害」の甚大な被害の発生に鑑み、市民に更なる災害に対する注意を喚起するとともに、災害対応の意識高揚に資するため、平成24年度災害対策費の需用費の中に予算を確保し、防災グッズの配布をおこなう。
事業の成果	市民の防災意識の高揚を図ることで、市民の防災対応能力の向上を図ることが可能となる。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		5,280
H24予算額	A	5,280
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	5,280

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

事業の目標	宇陀市民の安心と安全を確保するため、市民の防災意識の高揚を図る。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安全］ (5) 市民の防災意識の啓発

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	宇陀市防災行政無線デジタル化統一事業（実施設計）

所管課	危機管理課	（総務部）

事業の目的	現在、8波を使用している宇陀市の防災行政無線（同報系4波・移動系4波）について、「同じ内容を同時に市民に提供する」ため宇陀市防災行政無線を統一するにあたり、国が推進している電波のデジタル化を行う。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H24年度事業の概要	検討委員会により、平成23年度内に決定する同報系防災行政無線の方式（屋外拡声子局・個別受信機・防災ラジオなど）をふまえ、平成25年度から実施すべく、平成24年度で実施設計を決定する。 （予算細目：委託料）
事業の成果	使用周波数を統一することにより多様化する災害に対して、市民への素早い周知が可能となるほか、デジタル化することにより、将来は防災行政無線を使用した雨量計テレメーターの設置をおこなって、局地化する豪雨災害にも対応できるものとすることにより、市民の安心と安全を確保したい。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		5,700
その他		
一般財源		300
H24予算額	A	6,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	6,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）		平成23年度（見込）	
決算額又は決算見込額（千円）				
従事職員数【人工】				
人件費（人工×8,000千円）				
総事業費：人件費含む（千円）				
活動指標名				
活動指標の算式				
活動指標の実績		単位		単位
単位当たりコスト　（円）				

特定財源の状況
合併特例債　5700千円

事業の目標	宇陀市民の安心と安全を確保する。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安全］ (3) 宇陀市全域の防災行政無線の整備